

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第35週の発生動向

トピックス

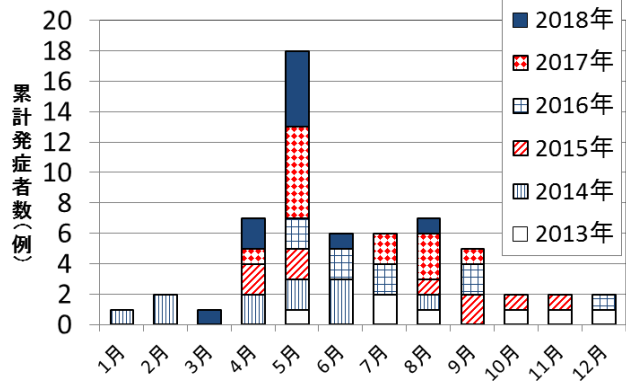
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は40歳代女性で、発症は8月下旬である。ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年10例目で、累計59例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	2	14	21	14	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



全数報告の感染症 (35週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱2例。5類感染症：百日咳7例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	60歳代	女	肺結核	咳
3類	腸管出血性大腸菌感染症	中央	40歳代	女	無症状病原体保有者	O157(VT1,2産生)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	40歳代	女	—	発熱、食欲不振、全身倦怠感
	日本紅斑熱	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、発疹、肝機能異常
		日南	70歳代	男	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
		日南	5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	女	—	持続する咳
			10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み
10歳代	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み			

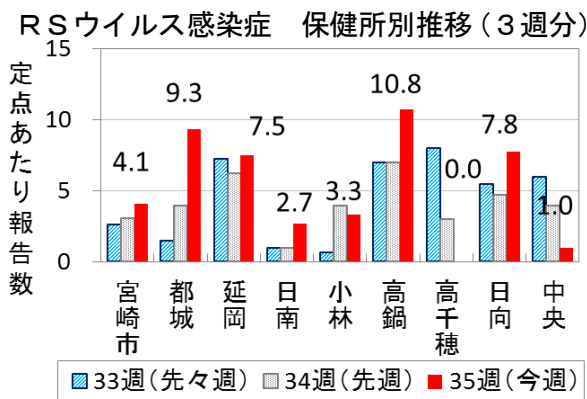
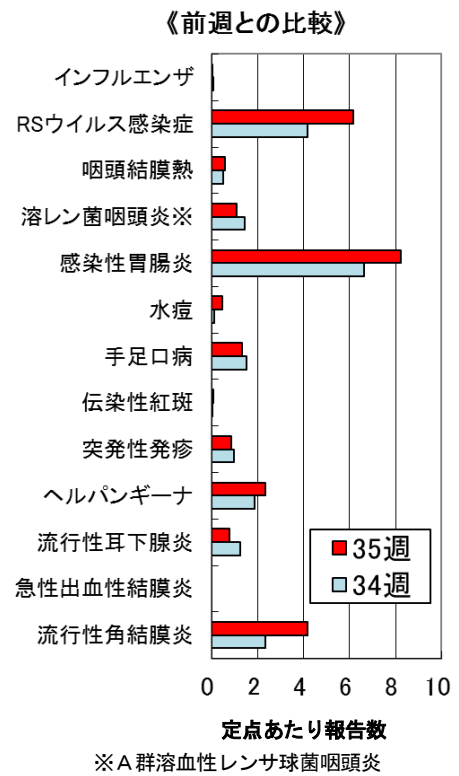
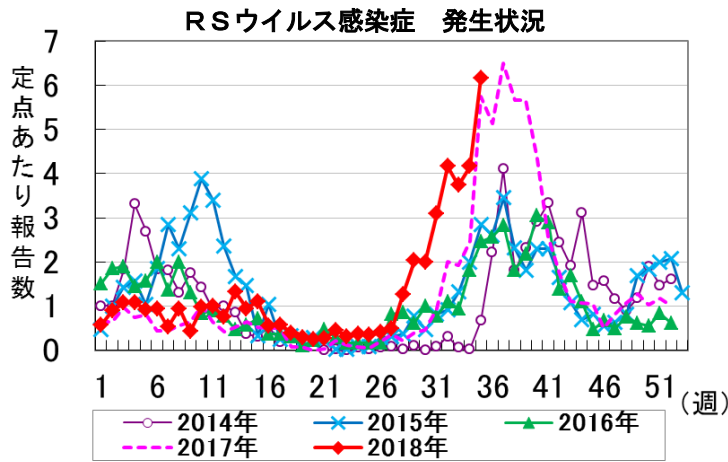
定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は794人(定点当たり26.2)で、前週比126%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

報告数は216人(6.2)で、前週比148%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(2.6)の約2.4倍である。高鍋(10.8)、都城(9.3)、日向(7.8)、延岡(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は2歳以下が約9割を占めている。



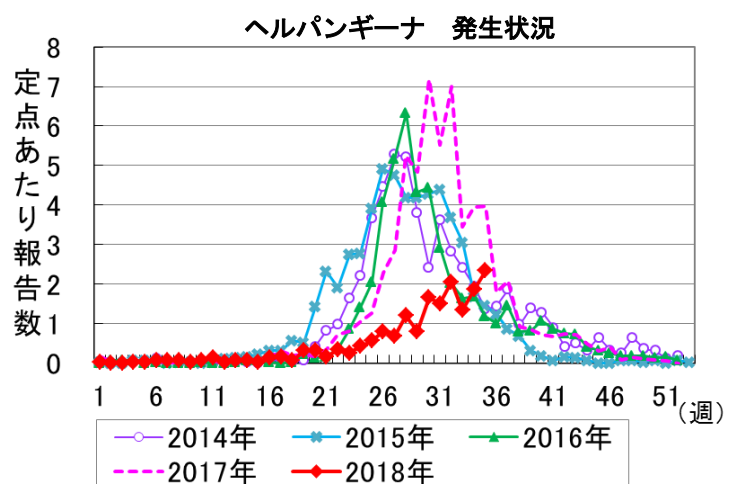
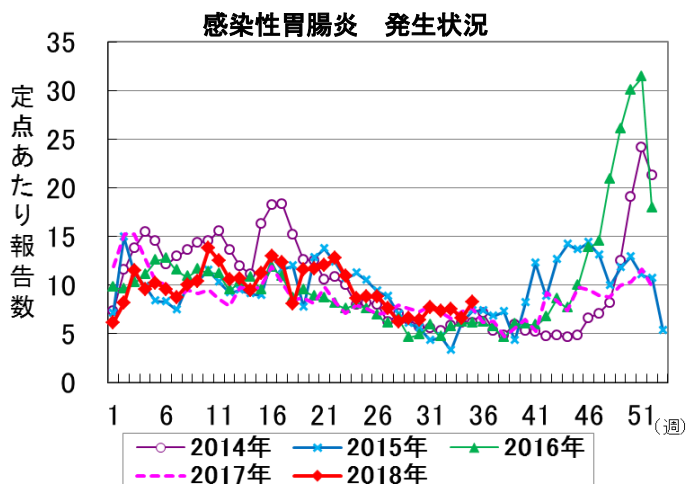
【感染性胃腸炎】

報告数は288人(8.2)で、前週比124%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(6.4)の約1.3倍である。日南(17.3)、小林(14.0)、日向(12.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6か月～2歳が約5割を占めている。

【ヘルパンギーナ】

報告数は82人(2.3)で、前週比126%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約1.3倍である。延岡(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6か月～2歳が約9割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○細菌性髄膜炎：日南保健所から1例報告があった。年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(7.5)
日南	咽頭角結膜炎(3.3)、流行性耳下腺炎(7.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

🇯🇵 全国 2018 年第 34 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 34 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	332 例				
3類感染症	細菌性赤痢	7 例	腸管出血性大腸菌感染症	211 例	腸チフス	1 例
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	20 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	9 例	日本紅斑熱	13 例
	ブルセラ症	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	33 例
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	43 例
	急性弛緩性麻痺	5 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	17 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例	侵襲性肺炎球菌感染症	25 例	水痘（入院例）	4 例
	梅毒	94 例	播種性クリプトコックス症	5 例	破傷風	1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	260 例	風しん	84 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 117%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザである。

RSウイルス感染症の報告数は 4,191 人(1.3)で前週比 100%とほぼ横ばいであり、例年同時期の定点当たり平均値*(0.82)の約 1.6 倍である。宮崎県(4.2)、徳島県(4.0)、愛媛県(3.4)からの報告が多く、年齢群別では2歳以下が全体の約9割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 988 人(0.32)で前週比 168%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.18)の約 1.8 倍である。神奈川県(1.4)、東京都(1.1)からの報告が多く、年齢群別では3～6歳が全体の約6割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2018年 第35週(08月27日～09月02日)

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	4	3		3							
	定点あたり	0.07	0.05	0.00	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	146	216	37	56	30	8	10	43		31	1
	定点あたり	4.17	6.17	4.11	9.33	7.50	2.67	3.33	10.75	0.00	7.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	18	20	1		2	10		7			
	定点あたり	0.51	0.57	0.11	0.00	0.50	3.33	0.00	1.75	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	50	38	14	5	9	4	1	3		2	
	定点あたり	1.43	1.09	1.56	0.83	2.25	1.33	0.33	0.75	0.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	232	288	44	57	17	52	42	13	6	50	7
	定点あたり	6.63	8.23	4.89	9.50	4.25	17.33	14.00	3.25	6.00	12.50	7.00
水痘	報告数	4	16	9	2	2	1	1	1			
	定点あたり	0.11	0.46	1.00	0.33	0.50	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	53	46	18	5	3	8	3	3		3	3
	定点あたり	1.51	1.31	2.00	0.83	0.75	2.67	1.00	0.75	0.00	0.75	3.00
伝染性紅斑	報告数	1	2		1						1	
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	34	30	8	4	6	2	1	4		2	3
	定点あたり	0.97	0.86	0.89	0.67	1.50	0.67	0.33	1.00	0.00	0.50	3.00
ヘルパンギーナ	報告数	65	82	22	5	30	7	1	1		16	
	定点あたり	1.86	2.34	2.44	0.83	7.50	2.33	0.33	0.25	0.00	4.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	44	27		1		23	1	1		1	
	定点あたり	1.26	0.77	0.00	0.17	0.00	7.67	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	25	19	3	3						
	定点あたり	2.33	4.17	6.33	1.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数		1				1					
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～35週)

2類感染症	結核	118例(1)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	31例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	10例(1)
	つつが虫病	1例	デング熱	1例	日本紅斑熱	14例(2)
	レジオネラ症	5例				
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	2例	播種性クリプトコックス症	4例
	破傷風	4例	百日咳	230例(7)	風しん	2例

()内は今週届出分、再掲